



近つ飛鳥

令和7(2025)年1月24日

学校だより2月号

河南町立近つ飛鳥小学校

阪神・淡路大震災より30年

校長 鍵谷 直毅

今年の1月17日で、阪神・淡路大震災が発生してから30年が経過しました。報道などでも大きく取り上げられ、当時の様子や復興の過程を見ると、改めて震災の大きさを実感しました。地震発生からの年月の経過に伴い、阪神・淡路大震災を経験していない世代が増えていることで、震災の教訓を語り継いでいくことが課題になっています。1月21日の児童朝会では、阪神・淡路大震災をはじめとする地震について取り上げ、子どもたちに日頃から地震に備えることの大切さを伝えました。また、地震などの災害で、困難が生じた場合には、人との繋がりや助け合いがいかに重要かについても話しました。ご家庭でも、地震が発生した場合の行動や、家庭での約束事など、お子様と一緒に話し合っていたいただければと思います。

【学校評価アンケートの結果について】

2学期に実施の学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。提出いただいたアンケートを集計しましたので、その結果について報告いたします。また、集計結果につきましては、連絡アプリで配信しますので、ご参照ください（紙媒体をご希望の方は担任にお知らせください）。

<保護者アンケートの結果より>

回答は、A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらないの4つから選択していただきました。質問によっては無回答もありましたが、大きくAとBを合わせた肯定的な回答とCとDを合わせた否定的な回答として捉えた数値により結果を報告させていただきます。

今年度のアンケート結果は、ほとんどの質問で肯定的な回答が80%以上となっており、保護者の皆様から一定の評価をいただいていることが窺えます。しかしながら、昨年度の結果と比較してみると

- ・学校は、子どもの学力の充実に努めている（昨年度 86.1%⇒今年度 78.8%）
- ・学校は、子どもの人権尊重に努めている（昨年度 85.4%⇒今年度 82.5%）
- ・学校は、子どものことについて相談しやすい雰囲気である
（昨年度 82.7%⇒今年度 79.4%）

などの質問で肯定的な回答の割合が下回りました。学力向上に関しては、子どもたちの日頃の学習状況の把握や、全国学力学習状況調査、大阪府学力テスト（すくすくウォッチ）などの分析をもとに、

学力向上への取り組みをさらに進め、校内研修などをより充実させることにより教員の指導力向上や人権に対する意識の向上を図りたいと思います。また、日頃より、ご家庭と学校との繋がりを大切に、個人懇談や学年・学級懇談をより充実させるなど、保護者の皆様が相談しやすい雰囲気や体制づくりに努めてまいります。

一方、昨年度に比べ、

- ・子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている（昨年度 89.4%⇒今年度 92.9%）
- ・学校は、いじめ防止に努めている（昨年度 72.7%⇒今年度 79.3%）

などの質問に対する肯定的な回答の割合が昨年度より上昇、学校行事等の充実や子どもたちの繋がりを意識した取り組みを評価いただいたと感じています。また、いじめ防止に関しては、引き続き子どもたちの状況の把握に努め、学期ごとの「心と体のアンケート」や担任との面談なども活用しながら、ご家庭とも協力して、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めてまいります。

<児童（5・6年生）アンケートの結果より>

児童アンケートについても、回答は、A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない の4つから選択してもらいました。質問によっては無回答もありましたが、保護者アンケート同様、大きくAとBの肯定的な回答、CとDの否定的な回答として捉えた数値により結果を報告させていただきます。

アンケートの結果を昨年度比較すると、

- ・学校で過ごすのは楽しい
- ・授業は、分かりやすい
- ・先生たちに話を聞いてもらったり、相談したりすることができる
- ・クラスや学年の取り組みを通して、達成感を得ることがある
- ・近りんぴっく、たてわり班活動、クラブ活動、林間学校、修学旅行などの学校行事は楽しい
- ・いじめが起きないための話し合いや取り組みをしている

の質問で肯定的な回答の割合が特に高くなりました。今年度、本校では、

- ・子どもたちの繋がりを深める
- ・体験・経験することを充実させる
- ・自己肯定感を向上させる
- ・子どもたちにしっかり寄り添う

ことなどを大切にして全職員が教育活動を進めた結果、学校生活の中で子どもたちが充実した時間を多く持つことができたのではないかと考えています。しかしながら、一定の子どもたちが否定的な回答をしている部分にもしっかり目を向け、すべての児童が充実した学校生活を送れるよう、さらに子どもたちひとり一人に寄り添った支援をしていきたいと思っています。

最後になりますが、記述でも多くのご意見をいただきありがとうございます。いただいた貴重なご意見は、できるところから教育活動に反映させてまいります。また、温かい励ましのお言葉も多数いただきお礼申し上げます。今後の励みとさせていただきます。今後も、保護者の皆様、地域の皆様に信頼される学校づくりに努めてまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願いいたします。